

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和7年7月21日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市南区吉祥院石原上川原町1-2	京都生活協同組合 専務理事 瀧本 剛満
	電話番号：075 - 672 - 6304

環境マネジメントシステムの名称	KESステップ2SR
適用範囲	洛北支部他9支部、コープ下鴨他17店舗、福祉事業部、クオレ案内センター、本部事務所
導入年月日	2014年 10月 1日
認証番号	KES2SR-0007
基本方針	(1) 地球温暖化防止対策として、CO2排出削減のためにエネルギー使用量削減と再生可能エネルギーの活用に取り組みます。(2) 環境に配慮した商品の取り扱いと普及をすすめます。(3) 廃棄物の発生抑制、再資源化をすすめます。(4) 資源や資材の有効活用をすすめるとともに、環境に配慮した資材の購入をすすめます。(5) 地域社会の要望にもとづいた施設見学や研修等の受け入れや、学習会の実施に取り組みます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2030年までに京都生協グループのCO2排出量を2013年度比50%以上削減することを目指します。（2024年11月に削減目標を40%削減から50%以上に引き上げました） また、2025年度は、改装店舗への自然冷媒機器の導入、エシカル商品の普及（供給数量2024年度比100%）、リサイクルの回収総量の向上（2024年度比100%）推進します。
目標を達成するための取組の内容	事業所設備の省エネ化。キープ20、キープ28での節電や（株）ファイナルゲートの「省エネチューニング」による既存施設の省エネ。太陽光自家発電・自家消費、CO2排出係数の低い電気（再エネメニュー）の購入。電気自動車の導入。宅配コース効率改善。
目標を達成するための取組の進捗状況	上記の取り組み内容の実施。 特に再生可能エネルギー由来のCO2フリー電気の導入を推進した（2024年12月からは京都市も含めた30施設を対象）
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	改装を実施した店舗が増エネしたが、その他店舗の運用改善により全体としては省エネとなった。今後、改装後の最適運用の早期構築、および配達車両の燃料抑制が課題。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、上部団体（日本生協連）からの情報をもとに確認を行なっている。各事業所での順守状況については、年1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO9001に準拠した業務マネジメントシステムの稼働に伴い、10年度より業務マネジメントシステムへ書類の統合を行った。書類については年1回見直しを行うこととしている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。